

科目名称	工業簿記論					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)
英文科目名称	Industrial Bookkeeping					グローバル・コミュニケーション	()	医療事務・医療秘書	(○)
科目コード	590114	授業形態	講義	単位数	2	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
教員氏名	土田 博		年次配当	1 年次	後期				
実務経験教員担当	有 ・ (無)		アクティブラーニング			有 ・ (無)			
授 業 概 要 及 び 授 業 方 法	<p>工業会計について学ぶ。製造業における簿記、原価計算を中心に練習問題を解いていくことにする。管理会計の知識は企業人にとって極めて重要であり、特に将来の管理者候補には欠かせないものである。管理会計は未来会計であり、自ら考えることが重要である。</p> <p>日商簿記検定においては100点中40点を占める科目であり、満点の獲得を目指す。</p>								
関 連 す る 科 目	「経営と会計」「簿記原理」「会計学」 「コンピュータ会計」					卒業認定(学習成果)との関連		①	
授 業 計 画	<p>1. 工業簿記のしくみ</p> <p>2. 材料費計算</p> <p>3. 労務費計算</p> <p>4. 経費計算</p> <p>5. 製造間接費計算</p> <p>6. 部門費計算</p> <p>7. 個別原価計算</p> <p>8. 総合原価計算</p> <p>9. 標準原価計算</p> <p>10. 原価・営業量・利益関係の分析</p> <p>11. 原価予測の方法</p> <p>12. 直接原価計算</p> <p>13. 製品の受払い</p> <p>14. 営業費計算</p> <p>15. 工場会計の独立</p>								
授 業 時 間 外 の 学 習	<p>予習・復習が大切。授業で解けなかった問題は、解けるまでやり通すことが大切。ワークブックを繰り返し練習する。これらを行うためには、1時間の復習は必要。</p>								
授 業 の 到 達 目 標	<p>製品のコスト感覚を身につけ、利益を出すにはどうあるべきかを自ら考える力を養成する。</p> <p>日商簿記検定2級合格を目指す。</p>								
課 題 に 対 す る フ ィ ー ド バ ッ ク	理解するまでの解説を目指す。					評価方法・基準		定期試験の成績 (100%)	
テ キ ス ト	検定簿記ワークブック (工業簿記2級) 中央経済社								
参 考 書	検定簿記講義 (工業簿記2級) 中央経済社								
備 考	誰でも受講できるが、「経営と会計」「簿記原理」において佐藤先生のクラスの受講者は必ず履修すること。								